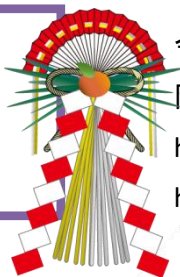


学校だより

No. 9

創造芳泉

～ いきいき わくわく 楽しい学校 ～



令和2年1月27日

岡山市立芳泉小学校・ひばり分校

<http://www.city-okayama.ed.jp/~hosens>

<http://www.city-okayama.ed.jp/~hibaris>



心新たに、気持ちのいいスタートを！

お正月に初夢を見ると縁起がいいと言われていますが、見た夢で縁起がいい順は、「一富士、二鷹、三なすび」とも言われています。校長先生は残念ながら初夢を見ませんでした。皆さんはどうでしたか？

また、初詣などでおみくじを引くと「大吉、中吉、末吉、凶」などがあります。校長先生は、凶を引いてしまいました。この引いたおみくじ一つで、喜んだり、悲しんだり、一喜一憂しますね。有名な書家あり詩人であった相田みつをさんは、「しあわせはいつも自分のところがきめる」と考えています。校長先生が凶を引いたのも、「今は悪いけど、今後良くなる」と考えればいいのかとか、申し訳ないけど、「大吉の人は今がピークで、今後悪くなる」と考えられるのかとか、どのように考えるかは自分の心次第ということだと思います。友達が悪いからとか、先生が悪いからとか、お父さんやお母さんが悪いからなどの言い訳はせず、「しあわせはいつも自分のところがきめる」の考えをもってみましょう。自分の心で決め、いいと思うことを実行して、心がピカピカになるように3学期も頑張りましょう。

6年生の皆さんは、卒業、中学校進学に向けて、カウントダウンが始まります。悔いを残さないように、勉強に運動に、そして、様々な活動にしっかりと頑張りましょう。今までも学校のためになることを頑張ってくれましたが、もっともっと何ができるか考えて、チャレンジしてくれと嬉しいです。期待しています。

おまけですが、校長先生は1月5日に東京の相田みつを美術館へ行ってきました。そこで、「夢はでっかく根はふかく」という言葉にくぎ付けになりました。寝ている時にみる夢ではなく、起きている間にみる夢です。大人になっても夢はもちたいし、子どもだから夢をもつのは早いとも言えません。夢をもち、夢を語れる人、そして、友達の夢を応援できる人になれるといいなと思っています。また次回の全校朝礼で、夢について話します。

(3学期始業式のお話より)

※相田みつをさんの詩の一部引用は「相田みつを美術館」の作品使用許可済みです。

以前紹介していましたが、『芳泉学区ラジオ体操の会』の取組が、第4回「おかやま協働のまちづくり賞」奨励賞を受賞しました。おめでとうございます。

長年続いている地元の取組です、しっかり応援しましょう！

たよりのカラー版をホームページに掲載しています。ご覧ください。

お世話になりました 学校評価アンケート

特徴的な質問を紹介し、感じたことを書いています。ご意見、ご感想をお寄せください。

◎保護者からの肯定的な回答の割合が90%以上の質問

- ①家庭では子どもが登下校のときなどに安全に気をつけるように話している。(96.7%)
- ②子どもの前でも近所の人などに挨拶をしている。(95.1%)
- ③子どもは、朝ご飯を毎日食べている。(94.2%)
- ④「読み・書き・計算」などの基礎学力が身につく指導になっている。(91.3%)

◎子どもからの肯定的な回答の割合が90%以上の質問

- ①登下校のとき、安全に気をつけている。(93.9%)
- ②テレビ、ビデオ、ゲーム、インターネットの使い方を守って生活している。(92.7%)
- ③宿題をきちんとしている。(92.7%)
- ④朝ごはんを毎日食べている。(91.7%)

▼保護者からの肯定的な回答の割合が少なかった質問

- ①子どもは、登下校時などに、保護者や地域の人に進んであいさつをしている。(46.0%)
- ②子どもが自転車に乗るとき、ヘルメットをかぶるように話している。(70.7%)
- ③子どもは、テレビやビデオを見たり、ゲームをしたりする時間を決めている。(72.4%)

▼子どもからの肯定的な回答の割合が少なかった質問

- ①自転車に乗るとき、ヘルメットをかぶっている。(56.8%)
- ②テレビ、ゲーム、メールが、長時間にならないように気をつけている。(69.1%)
- ③毎日早ね早起きなど規則正しい生活をしている。(73.3%)
- ④地域の人に進んであいさつしている。(81.9%)

【感じたこと】

○登下校の安全については、PTAの旗当番や地域の見守りのおかげで、非常に高い数値であると感じております。ありがとうございます。引き続き、学校でも交通安全指導に取り組む必要があります。

○あいさつについては、大人は「自分はできているが、子どもはできてない」と感じていますが、子ども自身は8割が「できている」と感じており、ずれが生じています。引き続き継続的に中学生やPTAのあいさつ運動などに取り組んでいく必要があると考えています。

○テレビやゲームなどについては、子ども自身から見ると、「使い方を守って生活している」と思っている子がほとんどですが、大人も子どもも、「長時間の利用に課題がある」と感じています。このことについてはスマホの利用の仕方も含め、大きな課題として、保護者の方々と力を合わせながら、取り組む必要を強く感じております。

今後も、保護者や地域の方々と協力しながら、改善に努めてまいりたいと考えております。よろしく願いいたします。